

令和2年度 当初予算要求の概要

局・区名

中区役所

要求総額

752

百万円

(対前年度予算 ▲ 3.1 %)

局区予算要求方針

中区役所では、中区まちづくりビジョンを基に、区民の皆様や多様な主体との協働により、区の特色をいかした魅力あるまちづくりを推進しています。令和2年度は、主に防犯対策にかかる新規・拡充事業や、区局連携によるハード整備事業等に取り組みます。

また、中区役所周辺では、(仮)中堺警察署の開署に向けた工事が進んでおり、これに伴う周辺環境の整備として、区役所駐車場の拡張整備に取り組みます。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 市民の自主的な活動の推進

要求額

◎ 自治会賠償責任保険補助事業

1 百万円

取組内容 自治会が所有、使用または管理する掲示板等の管理責任から生じるリスクを軽減し、市民の安全・安心を守るため、自治会活動に安心して取り組める環境の整備を推進することを目的に、自治会の賠償責任保険加入に対し支援を行う。

○ 地域会館整備事業

6 百万円

取組内容 地域住民のコミュニティ活動や防災の拠点である地域会館に対する整備費補助及び大規模改修補助は、工事費単価の高騰など、校区自治連合会の自己負担額が増大していることから、同連合会の負担の軽減を図るため、補助上限額を引き上げることにより、地域コミュニティの拠点整備を推進する。

2 安全で犯罪のないまちづくりの推進

◎ 戦略的公設防犯カメラ設置事業

3 百万円

取組内容 公共空間を撮影する防犯カメラを戦略的に設置することで、街頭における犯罪の防止や事件事故の早期解決を図り、犯罪の起こりにくい環境整備を行う。犯罪発生状況や各区の防犯環境を考慮し、管轄する警察署等と連携・協議のうえ、防犯カメラを効果的・効率的に設置していく。

○ 防犯カメラ設置事業補助金

9 百万円

取組内容 地域が実施する防犯カメラの設置は、犯罪の抑止はもちろんのこと、地域の防犯意識の向上や安心感の醸成に大きな効果が期待できることから、防犯カメラ設置に対する補助について、11台目以降の新規設置に係る補助率を、現行の50%から75%に引き上げることで設置を促進し、地域防犯力の向上を図る。

3 区の特徴をいかした魅力あるまちづくりの推進

○ 区域まちづくり事業(中区)

142 百万円

◎ 中区役所防犯カメラ設置事業

4.0 百万円

取組内容 中区役所庁舎内及び敷地内での防犯効果を高め、市民の安全に寄与するため、死角となりやすい箇所を重点的に防犯カメラを設置する。

◎ 原池公園関連整備事業

25.1 百万円

取組内容 原池公園への歩行者の通行機能を確保するため、連絡通路整備工事に必要となる道路及び橋梁の設計等を行う。

4 (仮称)大阪府中堺警察署設置に向けた周辺環境の整備

◎ 中区役所駐車場拡張整備等工事

24 百万円

債務負担 (33 百万円)

取組内容 中区役所周辺において、令和3年度の開署に向けて(仮称)大阪府中堺警察署の建設工事が施工されているところであるが、警察署開署に伴い区役所周辺の交通量の増加や渋滞の発生等が懸念されている。周辺環境の変化を見据えた対策の一つとして、区役所敷地を有効利用して駐車場の拡張整備を実施することで、入庫待ち車両の発生を緩和し、円滑な交通環境の整備を図る。